

- 阪神高速では、5号湾岸線への交通転換を図るため、環境ロードプライシングを継続実施中
 - 2020年3月の大和川線の開通により、利用区間によっては料金値下げ
 - 環境ロードプライシングの利用広報についても2020年度は以下の内容で実施
- 5号湾岸線への交通転換を更にすすめるため、今後も広報を継続

【2020年度の新たな広報取り組み】

- 本四高速管理の神戸淡路鳴門道上の各SA・PA(合計4ヶ所)でリーフレット配置
- 広報にデジタルサイネージを活用(阪神高速PA5ヶ所:京橋西行、中島、朝潮橋、泉大津上り下り)
- 阪神高速websiteトップページに大型リンクバナーの設置
- Nexco西日本website料金案内ページにリンクバナーの設置
- 阪神高速SNSに記事掲載(twitter, facebook)
- 大阪市港区で配布する「交通便利マップ」に広報記事掲載
- 大阪市港区広報誌へ広告掲載を実施(2021年1月号)
- 「環境ロードプライシング」案内リーフレットをポスティング(西宮市・大阪市此花区 合計約200のトラック関係事業所)
- 大阪市港区内の大阪市役所事業者関係窓口にリーフレットを配置

阪神高速PAデジタルサイネージ



阪神高速website
トップページバナー



環境ロードプライシングの広報

【2020年度の広報取り組み — 継続】

- 大型多頻度利用のユーザーへの請求書に「環境ロードプライシング」案内チラシを同封
- 日本道路交通情報センターのwebsiteでバナー広告(工事通行止など他の広報期を除く)
- 横断幕、道路情報板での広報(湾岸線経由・神戸線経由それぞれの所要時間も表示)
- 新規開通による料金改定(一部区間で値下げ)により、リーフレットを刷新、改めて配布・配置
 - ◆ 大阪府及び兵庫県トラック協会を通じて会員に送付(6,000部)
 - ◆ バス協会を通して会員に送付
 - ◆ 合計約20,000部のリーフレット配置
 - Nexco西日本管理のSA・PA(広範囲の同社SA・PA計31箇所)
 - 大阪市管理の港湾関係施設
 - フェリー、フェリーターミナル
 - 沿道各市の市役所、商工会議所など

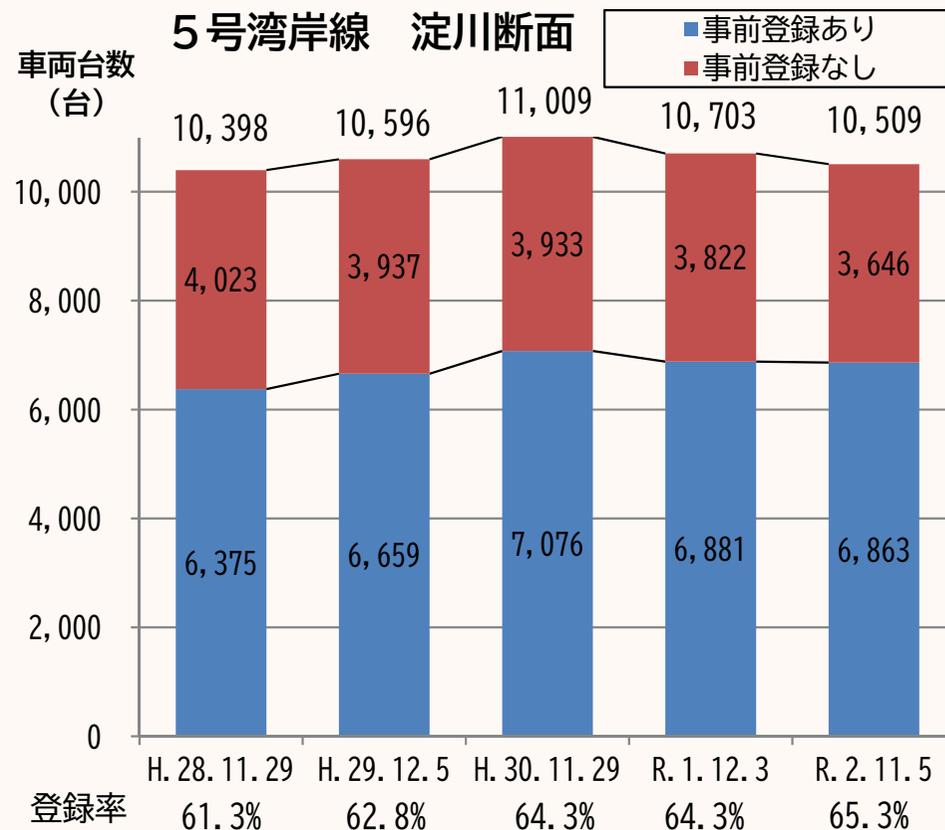
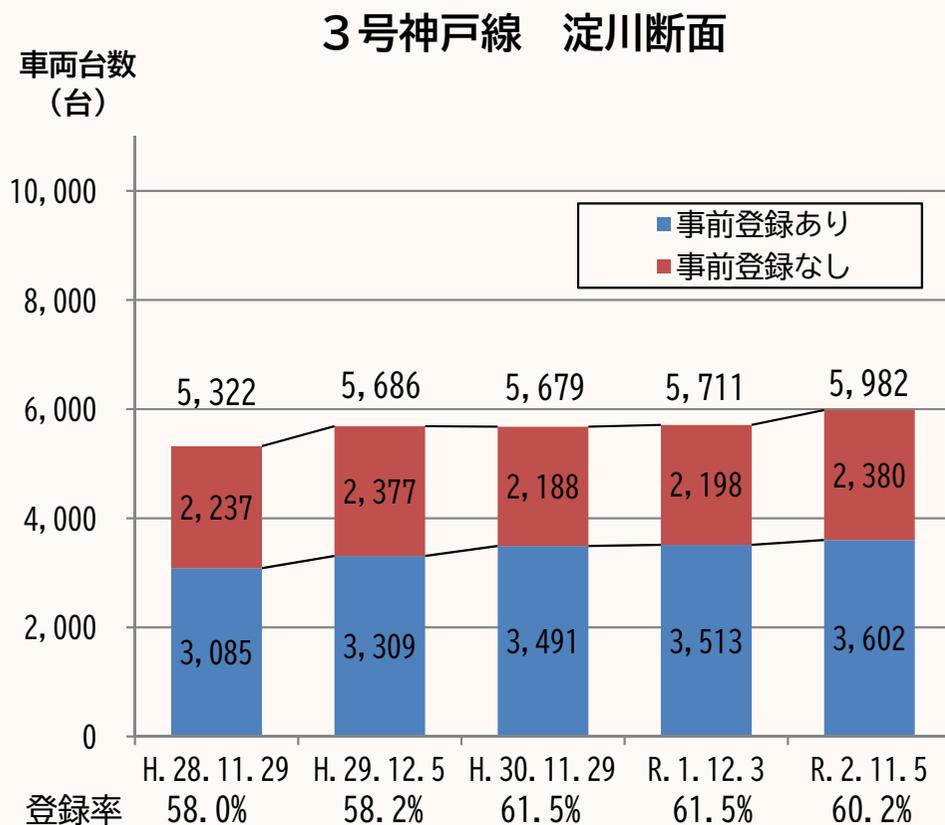


環境ロードプライシング リーフレット(ご利用ガイド)



コーポレートカード利用車に対する環境ロードプライシングの広報（参考）

- ETCコーポレートカード利用車両における事前登録有無の推移は以下のとおり。
 - 5号湾岸線では、事前登録率約6.5割で増加傾向
 - 3号神戸線では、事前登録率は約6割
- コーポレートカードによる利用額を請求する際に、案内チラシを同封し、環境ロードプライシングの広報を実施継続中



※登録率 = 事前登録あり / (事前登録あり + 事前登録なし) × 100

環境ロードプライシングの利用促進に向けた利用実態調査

調査の目的

国道43号を利用する大型車の利用実態を把握し、環境ロードプライシング施策の認知度調査を行うとともに、施策のさらなる広報を実施する。

令和2年度

STEP 1 : 対象事業所の抽出

- ① 企業情報データベース（令和3年3月）より、大阪市西淀川区・此花区・福島区・港区の業種別事業所名簿を入手
- ② ①からETCコーポレートカード請求先の事業所を除外

STEP 2 : 対象台数の推定

- ETC2.0プローブデータ（2020年11月）より、国道43号を利用する大型車のうち、環境ロードプライシング割引対象区間を走行する大型車の台数を推定

令和3年度

STEP 3 : 環境ロードプライシング広報（認知度調査）の実施

- ① STEP1の名簿より、大型車の出入りがある事業所を抽出
- ② ①の事業所に対し、環境ロードプライシング広報（認知度調査）の実施
- ③ 集計・とりまとめ